

電気学会 平成31年全国大会 本部企画シンポジウム
電気エネルギーの未来を考える
～ブラックアウトの現象、影響と提言～
開催報告

昨年9月6日に北海道で発生したブラックアウトは、高度に電気に依存する社会における停電の社会的影響の広がりや深刻さ、電力エネルギーライフラインの重要性を改めて浮き彫りにしました。

こうしたなか、平成31年全国大会において標記公開シンポジウムを開催し、発生したブラックアウトの現象、社会的影響を解り易く解明するとともに、この教訓をこれからの“電気とエネルギー”と”社会“にどう活かしてゆくかを、皆様と共に考える機会としたものです。

当日は、本会場、サテライト会場共にほぼ満席となり、本テーマに高い関心を持たれていることを伺わせる状況となりました。以下に開催概要を記し、HP公開をご了解いただけた講演者の発表資料をアップいたします。

【開催概要】

日 時：平成31年3月13日（水） 9：00～12：40
場 所：北海道科学大学 A棟308、 サテライト会場：A棟306
主 催：一般社団法人 電気学会

内 容：

（司会） 大熊 康浩 氏（電気学会 副会長（研究調査））
オープニング・リマークス 山口 博 氏（電気学会 会長）

【第1部】 講演

1. ブラックアウトとはどういう現象か
～ 北海道ではどのような事象が発生したのか～
内藤 淳一 氏（電力広域的運営推進機関 理事）
2. 停電復旧、再発防止への取り組み
藤井 裕 氏（北海道電力（株）取締役副社長）
3. 情報通信システムへの影響
高橋 庸人 氏（東日本電信電話（株）北海道事業部長）
4. 停電への電気鉄道における対応技術
近藤圭一郎 氏（早稲田大学先進理工学部 教授）
5. 一般生活者への影響
丸谷 智保 氏（（株）セコマ 代表取締役社長）
6. ブラックアウト～教訓をどう活かすか～
大久保 智 氏（NHK札幌放送局 放送部（報道） 副部長）

～休憩 15分～

【第2部】 パネルディスカッション

(モデレーター) 今井 伸一 氏 (電気学会 総務企画理事)

(パネリスト) 八木 雅浩 氏 (北海道経済産業局 資源エネルギー環境部長)

講演:ブラックアウトにより発生した道内石油製品の需給逼迫について

内藤 淳一 氏 (電力広域的運営推進機関 理事)

藤井 裕 氏 (北海道電力(株) 取締役副社長)

高橋 庸人 氏 (東日本電信電話(株) 北海道事業部長)

近藤圭一郎 氏 (早稲田大学先進理工学部 教授)

丸谷 智保 氏 ((株)セコマ 代表取締役社長)

大久保 智 氏 (NHK札幌放送局 副部長)

閉会

会場風景:



会場の様子



山口会長によるオープニング・リマークス



サテライト会場の様子



北海道電力(株) 取締役副社長 藤井様のご講演

以上